

12月 園だより

- ＜教育目標＞
- ・元気に遊ぶ子ども
 - ・豊かに感じる子ども
 - ・考え工夫する子ども

2019. 11. 29 文京区立本駒込幼稚園



つながる発表会

園長 原田幸子

令和元年も残すところ1か月となりました。赤や黄色のサクラやカキの葉が正門前にきれいなじゅうたんを作っています。今年は、夏の改修工事の関係でカキ、ナツミカンなどの木を大きく剪定したため、果物の実りが少なくなっています。収穫は、来年に期待したいと思います。一方、昨年、園庭に落ちていたセンダンの種子を園児が拾い、家庭でまいたところ、たくさんの芽を出したそうです。この話を11月の誕生会の懇談会時に聞き、かわいらしい苗木を幼稚園にいただきました。センダンの苗木にとっては、故郷に戻ってきたということになります。開園45周年の年に、シンボルツリーの苗木を幼稚園で育て始めたことは、植物の命のつながりや家庭と幼稚園のつながりを感じられた、うれしいエピソードです。

さて、12月7日の発表会に向けて年長組と年中組は、はりきって準備や練習に取り組んでいます。特に年長組は昨年の経験もあり、発表会のイメージをもって、皆で動きや言葉を確認しながら劇の練習をしたり、コツコツと衣装や大道具を作ったりしています。先日、ホールで夜の場面で使う星空を、5人ほどの子どもが大きな紙に描いていました。5人は三角(△)を2個組み合わせて星形(☆)を上手に描いていたので、「すてきな星の形ですね」と声をかけると、Aさんが「うん、Bさんに教えてもらったんだ」と、同じ場で星を描いていた友達の名前を言いました。Bさんは、友達に星形を描くコツを優しく教えてあげていました。教えてもらったAさんは、目的が達成できたうれしさや友達の優しさを感じ、教えてあげたBさんは、自分ができることを相手に伝える方法を考えたり、一緒に作り上げるうれしさを感じたりしていました。日々の遊びや生活、これまでの行事等の中で、友達とつながり、様々な経験を重ねてきた年長組らしい、協同性の育ちが感じられる一場面でした。

発表会は劇遊びや楽器遊びなどの表現活動を見ていただく会ですが、友達と一緒にのびのびと自分なりの表現を楽しむことを保育のねらいとしています。発表会に向けての取り組みの中で、それぞれが感じたり考えたりしたことを、各家庭で話したり、動いて見せたりしている姿もあることでしょう。人は相手に受け入れてもらっていると感じると、自分の思いを安心して表現できます。どうぞお子さんの話に耳を傾け、お子さんの思いに寄り添ってあげてください。ご家庭と幼稚園がつながって、子どもたちの表現力を育ててまいりましょう。

ごっこ遊びで役になりきって

発表会の取り組み

